

第5回 LCIF 国際委員エリア・MD コーディネーター会議要録

日 時：2018年1月26日（金） 13：00～17：00

場 所：キャッスルプラザ名古屋

出席者：

LCIF 国際理事	L.鈴木誓男
LCIF エリアコーディネーター（東日本担当）	L.大石 誠
LCIF エリアコーディネーター（西日本担当）	L.榎本舜治
330 複合地区 LCIF コーディネーター	L.安達成功（欠席）
331 複合地区 LCIF コーディネーター	L.小野寺眞悟
332 複合地区 LCIF コーディネーター	L.渡邊 豊（欠席）
333 複合地区 LCIF コーディネーター	L.中嶋正昭
334 複合地区 LCIF コーディネーター	L.加藤助太郎
335 複合地区 LCIF コーディネーター	L.北畑英樹
336 複合地区 LCIF コーディネーター	L.橋本充好
337 複合地区 LCIF コーディネーター	L.増田敏雄
LCIF 日本事務所事務局員	平岩ひろみ、堀郁世

議事進行： LCIF エリアコーディネーター L.榎本舜治

報告事項：

1. 鈴木 LCIF 国際理事による挨拶および報告

最初に挨拶あり。

- LCIF 創立 50 周年を迎えるにあたり、来年度からキャンペーンが始まる。キャンペーン委員長に山田 PIP、副委員長にフランク・ムーア PIP（現事務総長）が就任する。3 年間で 3 億ドル調達を目標とする。今年度含めたキャンペーンのテーマとロゴは 2 月 1 日以降発表される予定。
- 現行の献金会員プログラム（20・50・100 ドル寄付）は来年度から金額が 100・200・300 ドルの枠となり、交付されるピンのデザインも変更される。20 ドル、50 ドルの金額枠はプログラムから外れ、ピンの交付もなくなるが、寄付自体は可能。背景として、来年度からの世界共通目標として、一人当たり寄付額を 100 ドル以上と決定したため。
- 今期の世界目標は 5,000 万ドル。日本は今期目標 1,000 万ドルに対して現在 600 万ドル強集まっている。来年度から始まるキャンペーンをふまえて引き続きご協力いただきたい。

2. エリアコーディネーターによる挨拶および報告

- 大石 AC より挨拶あり。「今期も残すところ半年だが、目標額の達成にはまだ遠く、引き続きご尽力をお願いしたい。来年度発足される 50 周年キャンペーンにむけて、今から着実に準備を進めていきたい。併せてご支援ご協力をよろしくお願い致します。」
- 榎本 AC より、配布資料を基に、今期 7 月～12 月の LCIF 寄付実績の報告がされた。各地区の寄付額、クラブ参加率、前年度対比、目標達成率等を確認。リーダー、特に DG、DC の実績が地区全体に影響するため、特に協力を呼び掛けてほしい。実際に寄付をしているのは会員全体の約 3 割（家族会員除く）、MJF 寄付に関しては約 5%。しかし、MJF 寄付が全体の 87%を支えていることから、MJF 寄付の推進に注力いただきたい。

3. 協議事項

- 榎本 AC より新しい交付金体系の概要について説明あり。実施時期および詳細（内容、申請書、報告書等）については、決定次第追って通知する。
- 日本からの申請で初めて災害準備交付金が承認されたとの報告あり。334-D 地区、336-A 地区の計 2 件。
- 交付金申請書中の地名や固有名詞は、翻訳の手間を省くため、アルファベットで記入してほしいと鈴木理事より要望あり。
- ライオンズ・クエストに関して、加藤 MDC より質問：「ライオンズ・クエスト交付金の申請書はどういう経路で LCIF に送付するのか。MDC を通さずに申請書が提出されてしまう。また、クエスト事業は LCIF 担当者、クエスト委員会のどちらで担当するのかを明確にしてほしい。」

鈴木理事の回答：一般交付金は LCIF 理事会が、クエスト交付金はクエスト諮問委員会が審議・承認するが、クエストも LCIF の交付金プログラムの傘下にある。クエスト事業を別個で進めると、DG が事業や資金の運用を監督しづらくなる。現在そういった問題の見直しをしている段階。また、申請書を LCIF に提出する際は、LCIF 日本事務所に CC 送信すること。

- 地区／クラブシェアリング・プログラム：5 月の LCIF 理事会で最終的な決定がなされる予定。決定次第追って通知する。
- 1 月 1 日時点で MyLCI 上にクラブ LCIF コーディネーター（以下 CC）の登録のないクラブは、前クラブ会長が自動的に CC に登録されたと事務局員より補足あり。
- オセアル調整事務局は、国際協会本部の出張所的な役割を担う。太平洋アジア課課長のマーズ佐子氏が事務局長に就任。韓国語、中国語等の通訳スタッフ含め、職員は 9 人。キャンペーン担当の事務局員を一名追加採用する予定。なお、国際協会本部にも通訳・翻訳をする部署が必要なため、太平洋アジア課は残存される。
- プロトコールが 11 月に改訂された。後日改訂版を LCIF 日本事務所から送付する。LCIF エリアコーディネーターは LCIF エリアリーダーに変更される予定。（鈴木理事）

4. MD コーディネーターによる活動報告

- 小野寺 331MDC：複合地区行事「道民の集い」を初めて開催。ライオンズ、市民合わせて約 1,000 人が参加。任意の協力で総額約 300 万円集まった内、80 万円を LCIF に寄付いただいた。CC にいかにして協力してもらうかが重要と DG に訴えている。（寄付金のアイディアの一例：「LCIF アワードタイム」を CC が行い、会員から小額ずつ LCIF への寄付金を募り、寄付金が 1,000 ドルに達した時点で、クラブ内でクラブ活動に最も貢献した会員の名義で MJF 寄付を行う。）例年、3 月以降の寄付が激減するため、2 月に DC、LCIF 委員長らと会議で対策を立て、目標達成に努める。
- 中嶋 333MDC：参加率を 80%まで上げる必要がある。今期は C 地区が好調。例年、議長の所属地区が高い実績を上げる。2～3 月中に LCIF 研修会を開催し、せめて昨年度実績に追いつきたい。ゼロクラブはまだ多い。DG および地区の LCIF 担当者にポイントを絞って協力を要請していく。

榎本 AC よりコメント：DG、LCIF 委員長、第一・第二副地区ガバナーらには特に協力を要請してほしい。文書で依頼文を出しているということだが、直接会ってお願いする方が効果的。

- 加藤 334MDC：A 地区の目標達成率が全国 10 位以内。前年度実績の高い地区が前年対比減。DG、DC、委員長に各地区のゼロクラブ一覧表を送付し、対処を依頼した。準地区のメンバーに積極的に行動してもらうことを主眼に置いている。DG、DC の意欲は高く、目標達成を期待している。単一クラブから、最新の情報が欲しいという要望があるため、正しい情報をクラブに流し、意欲向上につなげたい。一月の理事会で災害準備交付金が 1 件、一般交付金が準地区 2 件、複合地区で 1 件が承認された。（MD334）
- 北畑 335MDC：順調に推移している。バースデーMJF の推進、目標額の達成、ゼロクラブをなくすといったシンプルな目標を掲げている。リーダーである DG の寄付が重要であること、交付金申請の際は責任者としての自覚をもって署名すること、災害発生時は迅速な行動を執ることなどを、12 月に開催された第一・第二副地区ガバナー研修会にて説明した。1 月には、各 DC、LCIF 委員長らに、寄付実績と目標達成率を記した激励の文書を送付した。
- 橋本 336MDC：1 月に DC 会議を開き、現状と今期目標を再確認。ゼロクラブ含め、全クラブの今期実績の詳細資料を作成し、改善策を取るよう DC に依頼した。LCIF から毎月送信される資料に、今後、自身のコメントを添えて各準地区に発信していく。各準地区の 3 役スクールへの参加、来期に向けてのプレゼンを検討している。CC を機能させることが最重要課題。CC 研修を開催するよう DC に依頼する。交付金申請に関して、クラブ⇔LCIF で直接やりとりをし、DC、MDC が把握できないケースがある。今後 LCIF 日本事務所にクラブから相談があった場合は、一度 MDC、DC に連絡するように伝えてもらい、コーディネーターの相談、確認を経ながらスムーズな進行を目指す。
- 増田 337MDC：各準地区にて LCIF セミナーを行った際、多くの若い会員らから LCIF

について初めて理解したという感想をもらった。今後活躍する可能性を持った新メンバーらに、LCIF に関する教育が行き届いているか疑問に感じている。地区によって LCIF の認知度が低いことを懸念している。毎年好実績を上げる C 地区では、新会員への LCIF 教育が手厚く、またリーダーらが積極的と聞く。複合地区 LCIF 委員長を設置し、準地区の委員長あるいは DC を集めての勉強会が実現できるようにしたいと考えている。参加率が低い地区には、DG (=DC) に、ZC やクラブ会長らに直接 LCIF 寄付を呼び掛けるよう依頼した。337-A・B 地区の九州北部水害に関する交付金事業に関しては報告を待つ。2月に B 地区のキャビネット会議に参加予定。

5. 次年度以降 MDC 選任について

次期 MDC の選任およびキャンペーンの組織、役員構成について意見交換をした。

6. 次年度公式訪問日程

来年度国際会長公式訪問：2018年9月3日（東京）4日（大阪）

来年度 LCIF 理事長公式訪問：アガワル次期理事長の予定が不透明なため日程未定。

7. 次回会議日程

第 6 回 MDC 会議 5月16日（水）

現・次期 MDC 引継ぎ会 5月17日（木）

開催予定。LCIF 本部職員数名が出席する予定。

以上